



九木崎樹叢 (県指定天然記念物・尾鷲市)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059(224)2877

FAX 059(229)1931 MAIL gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL https://www.gijiroku.jp/mie/(スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai(Facebook)

議会
ホームページ



スマホ版
議会だより



議会
Facebook



～令和8年度当初予算などについて議論～ 令和8年三重県議会定例会 2月定例会、3月会議

県民の命と尊厳を守る「安全・安心な暮らしの実現」や「子どもの健やかな成長を支える環境づくり」、未来を拓く「時代の変化と潮流を捉えた産業振興」や「観光振興と三重の魅力のプロモーション」等に重点を置いた令和8年度当初予算のほか、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けている生活者や事業者に対する支援等を実施するための補正予算、「三重県県行造林」ークレジット基金条例案」等について審議・可決しました。また、伊勢茶に親しむ暮らしの推進を図り、もって伊勢茶の振興に寄与することを目的とした「伊勢茶に親しむ暮らし推進条例」を制定しました。

本号の主な内容

- 1面…………… 今後の日程(予定)、代表質問
- 2～3面……… 一般質問、用語解説
- 4面…………… 伊勢茶に親しむ暮らし推進条例を制定、知事への提言・国への意見書提出、議員勉強会を開催、文書による質問、インターネット中継・録画配信のご案内、審議結果と主な開催実績

三重県議会定例会 今後の日程(予定)

5月から6月までの日程(予定)は次のとおりです。

5月	6月
12日 代表者会議 議会運営委員会	3日 本会議(議案上程)
14日 代表者会議	8日 本会議(議案質疑)
15日 代表者会議	10日 本会議(一般質問)
18日 代表者会議 議会運営委員会	12日 本会議(一般質問)
19日 本会議(役員改選)	16日 本会議(一般質問)
21日 代表者会議	18日、19日、22日、23日 各行政部門別常任委員会・分科会
22日、25日、26日 各行政部門別常任委員会	26日 予算決算常任委員会
27日 議会運営委員会	29日 代表者会議 議会運営委員会
29日 特別委員会	30日 本会議(採決)

※この日程は、令和8年4月5日現在の予定です。最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」でご覧いただけます。



TV テレビ中継 インターネット中継

傍聴のご案内

三重県議会では、開かれた議会運営を目指して、本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、代表者会議、議案聴取会、全員協議会、広聴広報会議等を公開で開催しています。

どなたでも会議を傍聴することができますので、議会の日程をご確認の上、三重県議会議事堂までお越しください。



傍聴のご案内

代表質問



ジェンダーギャップ解消に向けた今後の方向性について

すぎもと ゆや
杉本 熊野 議員 新政みえ/津市選出



問 報道によると、フルタイムで働く男女の賃金格差は、過去19年間の平均で三重県が全国最下位でした。令和8年1月にジェンダーギャップ解消フォーラムが開催され、学ぶべきことが多くありました。知事の受け止めとジェンダーギャップ解消に向けた決意、今後の取り組みの方向性を伺います。

答 フォーラムの事例発表で出た「ロールモデル」と「短時間正社員制度」というキーワードはとても大事だと考えます。令和7年度に策定予定の「三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略」に基づき、アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)解消に向けては条例制定を検討するなど、「予算」と「条例」の両輪で取り組みます。三重県全体で考える風土をつくり、ジェンダーギャップを解消していきたいと考えています。

その他の質問事項

- 子どもたちの「自立する力」「共生する力」「創造する力」を育むために
- 多文化共生のさらなる推進を！ ほか



地域計画に基づく農地の集積・集約について

あおき けんじゅん
青木 謙順 議員 自由民主党/津市選出



問 本県の基幹的農業従事者は、平均年齢69.8歳、70歳以上の割合が63%と、高齢者が占める割合が非常に高く、今後急激に減少する可能性があります。少ない人数で農業生産を継続するためには、新規就農者の確保と併せて、農地の集約化も重要と考えますが、県の取り組みをお聞かせください。

答 県では各農林水産事務所に、市町、JA、農地中間管理機構等から成るチームを設置し、担い手への農地の集積・集約化を進めており、農地集積率は毎年度増加しています。一方で、全市町で策定された533の地域計画のうち、将来的な集約化が計画されたものは16%に留まるため、集積・集約化に向けた地域の合意形成のサポートや、計画作成におけるデジタル技術の活用の実証に取り組み、農地の集約化につなげます。

その他の質問事項

- 地域を支える建設業の活性化について
- 地域を支える事業承継の取り組みについて



インバウンド誘客について

のむら やすお
野村 保夫 議員 自民党県議団/伊勢市・鳥羽市選出



問 県や地域のさまざまなインバウンド誘客の取り組みが功を奏し、全国と比較して遅れていた県の外国人延べ宿泊者数のコロナ禍からの回復に、兆しが見えると聞きます。回復を着実なものにできるよう、令和8年度当初予算で注力するインバウンド誘客に向けた知事の思いをお聞かせください。

答 令和8年度はインバウンド拡大攻勢プログラムとして予算を増額し、ゴールデンルートからの誘客促進等に取り組みます。また、データに基づきインバウンド誘客に向けた計画を策定し、重点的に取り組む国等を絞り込むとともに、受入環境の充実とプロモーションを両輪で推進します。インバウンド誘客は成果が表れるには時間がかかる一方、取り組みをとめるとすぐに来なくなるなどの指摘もあるため、地に足を着けて取り組みを推進します。

その他の質問事項

- 大規模災害時の受援対策について
- 医師の確保・偏在対策について ほか

一般質問



南海トラフ地震に備える孤立対策

ふじね まさのり
藤根 正典 議員 新政みえ/東紀州選出



問 南海トラフ地震の今後 30 年以内の発生確率が「60%～90% 程度以上」に見直され、切迫性が高まる中、孤立地域の課題への対処を加速させる必要があります。この認識のもと、県が令和 7 年度に実施した取り組みと、今後の対策の進め方について、お聞かせください。

答 令和 7 年度に創設した「いのちを守る防災・減災総合補助金」の孤立地域対策枠を活用し、市町では食料等の備蓄や通信手段の確保等が進められ、令和 8 年度もこの枠に同額の予算を計上しています。また、実証調査を踏まえ作成するガイドラインを用い、今後、市町を対象に、ドローンを活用した災害時物資輸送の勉強会を開催します。引き続き、孤立の恐れがある地域の方々が安心して暮らせるよう、市町とともに防災対策に取り組みます。

その他の質問事項

- 中山間地域のこれからをどう考えるのか？



外国人受入れについての県の考え方

なんば せいこ
難波 聖子 議員 参政党/桑名市・桑名郡選出



問 育成就労制度の施行など、外国人の受入れが進む動きを十分認識していない県民も多い中、国に対して移民の受入れ数の制限や停止、家族帯同の不可を要望いただきたいです。外国人との共生に不安を抱く県民に対し、県はどのように取り組んでいくのか、知事の考えをお聞かせください。

答 生産年齢人口が減少する中、外国人労働者なしに経済は回らない状況です。冷静で論理的な議論が大事であるため、全国知事会等を通じ、外国人の受入れの基本的な在り方や、正確な情報の積極的な発信を国に働きかけています。令和 8 年度は、庁内の外国人政策の総合調整を行う課を設置するほか、「みえ地域日本語教育支援センター（仮称）」の設置等、外国人も地域社会を共につくる一員として包摂する共生社会の充実を目指します。

その他の質問事項

- 0-2 歳児の子育て支援について



交通安全施設の設置における現状と課題

つだ けんじ
津田 健児 議員 自民党県議団/四日市市選出



問 要望があっても基準を満たさず設置に至らない信号や横断歩道の代替として期待される、ライトアップ表示板³や歩行者横断指導線のような新たな交通安全施設の必要性や設置基準について、県・市町・警察等の関係機関が連携し、情報共有や効果検証を行うよう提案します。県の考えを伺います。

答 県内外の効果的な事例や効果検証等について関係機関と情報共有・意見交換することは有益と考えています。県内の路面標示についての意見交換や検討等を行うことを目的とする「三重県内道路路面標示連絡調整会議」は、国・県・警察で構成し、同会議のワーキンググループには市町も参加していますので、これらを活用して道路交通の安全確保に向けた関係者との連携を図っていきます。

その他の質問事項

- 次期教育施策大綱について
- 職親⁴について ほか



不本意で非正規として働く女性のための正社員化支援

やまざき ひろし
山崎 博 議員 自由民主党/四日市市選出



問 報道によると、三重県は、フルタイムで働く男女の賃金格差が全国最下位と、大変不名誉な結果です。解決策の一つに、非正規で働く女性の正社員化が挙げられます。不本意で非正規職員として働く女性が正社員として働くための県の現状の取り組みと、今後の対応方針についてお聞きします。

答 令和 4 年の国の調査によると、不本意ながら非正規で働く女性は県内に 1 万 2100 人います。県では、ライフイベントが生じて柔軟に働き続けられる短時間正社員制度等の活用促進のため、企業へのアドバイザー派遣等を行っています。また、ビジネススキル習得研修の実施によるスキルアップ支援にも取り組んでいます。今後も、優良事例の横展開や、企業と求職者のマッチング機会を提供し、女性一人一人に寄り添った支援を行います。

その他の質問事項

- 中小企業・小規模企業におけるDXの推進
- 中小企業・小規模企業における「多様な働き方」の推進 ほか



県立高校における地域産業と連携した人材育成の推進について

いちかわ かくと
市川 岳人 議員 自由民主党/伊賀市選出



問 地域産業と連携した人材育成は重要な課題です。桑名高校や四日市工業高校等では、卒業後、専攻科でさらに専門性を高める仕組みに取り組んでいます。介護、ものづくり、農業等、地域に必要な人材育成を推進するには、専攻科の新設や拡大の検討が必要と考えますが、県の考えを伺います。

答 専攻科の新設は、将来的には有効な選択肢の一つですが、生徒の就学意向の把握、産業界のニーズ確認、教員確保も含めた中長期的な計画の検討が必要です。国の高校教育改革事業は令和 10 年度までの 3 年間の取り組みであるため、まずは先導的な役割を担う改革先導拠点校⁵の取り組みに注力し、3 年間で成果を上げられるよう準備を進めるとともに、先進的な教育内容や産業界との連携で得たノウハウを、他の高校にも広く展開していきます。

その他の質問事項

- 地域公共交通について
- 生活環境および自然環境の保全について ほか



魅力ある新しい道路計画“現代の伊勢街道づくり”について

そが まさひこ
曽我 正彦 議員 新政みえ/鈴鹿市選出



問 県内の高規格道路は山側に集中しています。みえ川越 I C から伊勢市まで、現代の伊勢街道・参宮街道として高規格道路を新たに整備し、さらに鳥羽市まで延伸すれば、雇用や産業振興、物流効率化の他、観光等にも裨益し、県南部の活性化等、県の新たな発展につながると考えますがいかがですか。

答 三重県の新広域道路交通計画では、みえ川越 I C と四日市港とを結ぶ四日市湾岸道路が位置付けられています。今後、鈴鹿四日市道路や北勢バイパスが整備されれば、四日市から伊勢までがつながり、連続性・代替性が高まります。まずは既に計画されている幹線道路網の 1 日も早い完成を目指しつつ、既存の道路網においてもデータ等を活用したサービス向上に取り組めます。

その他の質問事項

- 誰もが豊かに住み続けることができる三重づくりを
- 県民を守り抜く魅力ある三重づくりを

一般質問



高校入試単願制について

りゅうじん けいすけ
龍神 啓介 議員 自由民主党/津市選出



問 県立高校の入試は単願制のため、志望度は低いが高合格率が高い学校を受検するか悩む生徒もいます。民間の調査では、合格率高い学校を受検すると答えた中高生の約8割が、併願制なら第一志望校に挑戦すると答えています。併願制は生徒の選択肢を広げると考えますが、県の考えを伺います。

答 県立高校の入試では、生徒の個性や優れた点を多角的に評価するため、評価方法の異なる二つの選抜を実施し、併願制と同様に、受検機会を複数確保しています。国は、併願制導入の利点と課題を整理し、検討する方針を示していますが、現時点で具体的な進展はないと認識しています。引き続き、併願制の調査研究を進め、併願制導入の是非にとどまらず、生徒の特性や学びの成果を多面的に評価する高校入試となるよう、制度改善に取り組みます。

その他の質問事項

- 自転車の安全な利用について
- スポーツ環境について ほか



子ども・若者の居場所の充実

いちの しゅうへい
市野 修平 議員 新政みえ/桑名市・桑名郡選出



問 子ども・若者は、困難な状況に陥っても相談窓口に向くことはハードルが高いと感じることがあり、安心して過ごせる居場所をさらに充実させる必要があります。中高生世代の居場所となる校内居場所カフェやユースセンター^⑥等の子ども・若者の居場所の設置について、県の考えを伺います。

答 令和8年度は、地域のニーズに応じた中高生世代の居場所づくりを支援できるよう、居場所づくりに取り組む団体の運営を支援する補助制度を見直し、補助メニューの拡大を検討しています。また、この補助制度が活用されるよう、制度の周知と活用事例紹介を交えた説明会を開催予定です。
中高生世代の声も踏まえ、子ども・若者の視点に立った多様な居場所が県内に広がるよう、県としてしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問事項

- 企業誘致について
- 公共交通について ほか



地域猫活動^⑦のトラブル抑止に向けた県の支援策について

たなか ゆうじ
田中 祐治 議員 自由民主党/松阪市選出



問 現場の実態を踏まえると、本県が進めるTNR^⑧事業は、地域との合意形成の難しさ、ルール之不統一、費用や担い手の負担等から地域住民の理解が得られないなどの課題も残されています。県として、地域住民の合意形成のための支援が必要と考えますが、県の考えを伺います。

答 県では、飼い主のいない猫の減少に向け、不妊・去勢手術を行っています。猫による地域の課題はすぐに解決できるものではないため、地域猫活動の取り組みを進めることが重要と考えています。理解促進に向け、ホームページやリーフレットで周知・啓発を行っていますが、今後、より分かりやすい内容に工夫するほか、自治会等から要請があれば、地域住民の合意形成に向け、保健所から住民等に対して地域猫活動等についての説明を行います。

その他の質問事項

- 地域公共交通の維持・確保に向けた県の支援策について
- J-クレジットの活用について ほか



みえ県民1万人アンケートについて

きた けんじ
喜田 健児 議員 新政みえ/松阪市選出



問 みえ県民1万人アンケートは、幸福感や生活実感、地域や社会とのつながり等を問い、その結果を事業評価への反映等に活用するため実施してきましたが、選挙人名簿を用いて対象者を抽出しているため外国籍住民を排除する形になっています。改善すべきと考えますがいかがですか。

答 みえ県民1万人アンケートは、結果の継続性の担保のため、平成8年度の開始当初から現在まで、選挙人名簿から対象者を無作為抽出して実施していますが、この結果のみをもって政策決定するものではありません。今回ご意見をいただいたアンケート対象に外国籍住民を含めることについては、他県の状況や外国籍住民が増加している近年の状況を踏まえ、アンケート結果の継続性への影響等を見ながら、今後考えていきます。

その他の質問事項

- 「ドリームオーシャンスタジアム（三重県営松阪野球場）」の大規模改修による三重県経済の活性化について

用語解説

① 農地中間管理機構

都道府県、市町村、農業団体等が出資して組織されている法人で、都道府県知事が県に1つ指定します。農地バンクとも呼ばれます。

② 地域計画

おおむね10年後の地域における担い手や農地利用の方向性を示す地域農業の設計図のことです。

③ ライトアップ表示板

信号機の無い横断歩道の標識等に設置され、搭載したセンサーが歩行者を感知すると、電光掲示板に「横断あり」等の文字が点灯して、運転者に注意喚起する設備のことです。

④ 職親

刑務所出所者等が再び罪を犯さないよう、企業が「職の親」となって自立更生を推進する活動のことです。

⑤ 改革先導拠点校

文部科学省が推進する「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）～2040年に向けた「N-E-X-T」ハイスクール構想～」に基づき、教育内容の抜本的改革を先導する「改革先導拠点」に指定された学校のことです。

⑥ ユースセンター

中高生や若者にとっての、家庭や学校以外の居場所のことです。NPO法人等が運営しているケースが多く、幅広い活動を通して若者の成長を支え、相談にも応じます。

⑦ 地域猫活動

所有者のいない猫を地域の合意のもと、地域住民が主体となって、餌やりや糞尿処理等の一定のルールを定め、猫を見守り、管理していく活動です。

⑧ TNR

飼い主のいない野良猫に不妊・去勢手術を行うことでさまざまなトラブルの軽減を図り、一代限りの命を見守る活動のことです。不妊・去勢手術を施した猫は、目印として耳先を小さくカットします。



三重県農業改良普及活動基本計画について

ふじた よしみ
藤田 宜三 議員 新政みえ/鈴鹿市選出



問 農業の現場と行政・研究機関の橋渡しをする普及指導員は、「三重県食を担う農業の振興及び農村の活性化に関する条例」やその基本計画に基づく「三重県農業改良普及活動基本計画」に沿って活動を展開しています。令和8年度に予定している普及活動基本計画の見直しの方針をお聞きします。

答 次期計画は、基本計画の基本方針に即した内容とするともに、基本計画の改定ポイントである農産物の生産拡大や食料自給率の向上の実現に向け、活動の方向性を定めます。具体的には、品質向上を図るための栽培技術の速やかな現場実装等、生産現場に寄り添った対応のほか、農業者が意欲や関心を高められるようなセミナー開催やベンチマーキングの企画運営、野生鳥獣による農作物被害への対策技術の導入支援等に取り組みます。

その他の質問事項

- 県道神戸長沢線4車線化の進捗と今後の進め方について



伊勢茶に親しむ暮らし推進条例を制定

伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会で検討され、令和8年定例会2月定例会に上程された「伊勢茶に親しむ暮らし推進条例案」が3月23日（月）、全会一致で可決されました。
この条例は、即日公布され、4月1日から施行されています。

主な内容

伊勢茶に親しむ暮らしの推進を図り、もって伊勢茶の振興に寄与するため、伊勢茶の普及の促進および伊勢茶に親しむ機会の確保に関し、基本理念を定め、および県の責務等を明らかにするとともに、計画の策定その他の必要な事項を定めています。

【基本的施策】

- 伊勢茶の普及の促進
 - ・飲食店営業者等による伊勢茶の販売等の促進
 - ・伊勢茶等による乾杯の取り組みの促進
 - ・伊勢茶等の普及宣伝等
 - ・伊勢茶の新たな需要の開拓の促進 ・伊勢茶の輸出の促進
- 伊勢茶に親しむ機会の確保
 - ・学校、家庭、地域等における伊勢茶に親しむ機会の確保
 - ・伊勢茶学に基づく食育の推進
- 顕彰
- 伊勢茶初摘みの日（八十八夜）および伊勢茶に親しむ月間（11月）に趣旨にふさわしい事業を実施

議員勉強会を開催

3月23日、名城大学工学部社会基盤デザイン工学科の松本幸正教授を講師にお招きし、令和7年度第2回議員勉強会を開催しました。
県内の地域公共交通は、人口減少や高齢化の進行等により、長期的に利用者の減少が進むなど、厳しい状況に置かれています。また、県内各地には交通不便地域が存在し、特に移動手段を持たない高齢者等の移動手段の確保が喫緊の課題となっています。

こうした状況を踏まえ、今回の勉強会では、「元気に暮らし続けられる交通まちづくり」と題して、地域公共交通の実態や課題、それらを踏まえた交通まちづくりの取り組みなどについて幅広い視点からお話いただき、地域公共交通政策についての見識を深めることができました。



議員勉強会の様子

知事への提言・国への意見書提出 豊かで美しい三重の海づくり調査特別委員会

本県にとっての「海」は水産業や県民の暮らしにとって非常に重要なものですが、海を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、全国豊かな海づくり大会の開催も契機として取り組みを推進するため、令和7年5月に新たに特別委員会を設置しました。

委員会においては、漁業関係者、国、学識経験者等も交えて幅広い観点から分野横断的に議論を進めたほか、県内外の先進事例の調査等も重ねてきました。

これらの調査から得られた知見を生かし、豊かで美しい三重の海が次世代へ引き継がれていくことを目指して、中長期的な視点で、自然、社会、経済のそれぞれの分野から着実に取り組みが実施されるよう、県と国で取り組むべきことを包括的に取りまとめ、委員会として知事への提言を行うとともに、国に対する意見書を取りまとめ、本会議で可決しました。

提言の主な内容

- ・生き物が暮らす観点での目指すべき海洋環境の水準の設定等による海洋環境保全の循環の構築
- ・県全体での気運の醸成、海洋教育の推進等による、海を守り、育む人材確保の循環の構築
- ・水産業の振興、^{うみぎょう}海業の振興支援等による、地域のにぎわいや所得と雇用、関係人口を生み出す循環の構築



知事への提言

文書による質問

三重県議会基本条例第14条の2の規定に基づき、次のとおり文書による質問が提出されました。

- 吉田紋華議員（日本共産党）
「三重県庁の職員採用における国籍要件の撤廃」の方針や県の姿勢について

※質問と回答は、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。



文書による質問

インターネット中継・録画配信のご案内

三重県議会では、本会議、常任・特別委員会、全員協議会、議長定例記者会見等の生中継・録画配信をインターネットにより行っています。

県議会ホームページの「議会中継・録画」または「議長定例記者会見」からご覧いただけます。



議会中継・録画



議長定例記者会見

審議結果と主な開催実績

審議結果

2月定例会会議（2月17日～3月23日）

可決した議員提出議案

- 三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案
- 伊勢茶に親しむ暮らし推進条例案 ほか1件

可決した議案

予算

- 令和7年度三重県一般会計補正予算（第10号）
- 令和8年度三重県一般会計予算 ほか34件

条例

- 三重県県行造林J-クレジット基金条例案 ほか17件

その他議案

- 包括外部監査契約について ほか17件

同意した人事案件

- 副知事の選任につき同意を得るについて ほか2件

可決した意見書案

- 豊かで美しく親しみのある海づくりの推進を求める意見書案
- 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書案
- 自衛官の処遇等の改善及び退職自衛官の再就職支援の促進に関する意見書案
- 日本国国章損壊等の罪の制定について十分な検討を求める意見書案

- 売春防止法の規制強化等を求める意見書案
- 医療記録の保存期間見直し及び保存体制の整備を求める意見書案

否決した意見書案

- インボイス制度の廃止を求める意見書案

3月会議（3月31日）

可決した議案

- 三重県県税条例等の一部を改正する条例案

議員別の賛否等の状況（PDFファイル）

2月採決分



3月採決分



主な開催実績

2月

- 17日 **本会議**
議案49件上程
- 25日 **本会議**
代表質問（3人）、議案質疑（5人）
予算決算常任委員会各分科会
議案の審査、所管事項の調査
- 27日 **本会議**
一般質問（4人）、議案4件可決
予算決算常任委員会
議案の審査

3月

- 3日 **本会議**
一般質問（4人）
- 4日 **本会議**
議提議案1件上程、議案23件上程
伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会
伊勢茶に親しむ暮らし推進条例案について ほか
- 6日 **本会議**
一般質問（4人）
- 9日 **予算決算常任委員会**
予算議案および予算関連議案にかかる総括質疑
- 10日～13日 **各常任委員会・分科会**
議案の審査、所管事項の調査 ほか
- 17日 **豊かで美しい三重の海づくり調査特別委員会**
委員長報告案について ほか
- 18日 **予算決算常任委員会**
議案の審査
- 23日 **本会議**
議提議案2件上程・3件可決、議案68件可決、意見書案7件上程・6件可決・1件否決、人事同意議案3件上程・同意
- 31日 **本会議**
議案1件上程・可決
予算決算常任委員会総務地域連携交通分科会
議案の審査
予算決算常任委員会
議案の審査

※この他にも、さまざまな会議を開催しました。